

第2回：地域教材シンポジウム

日時：2026年8月17日（月）9：00～12：15

受付：8：30～9：00

場所：兵庫教育大学 加東キャンパス

教育・言語・社会棟1階イノベーション・commons L

参加費無料

第1部：小学校社会科副読本の在り方について

発表者

- ・友國 優生（加東市立社学園小学校・教諭）
- ・内藤 翔太（小野市立下東条小学校・教諭）

指定討論者

- ・濱野 清（兵庫教育大学・教授）

小学校社会科副読本作成において大切なことは何なのか？どのような副読本が必要なのか？副読本を活用してどのように社会科授業を展開するのか？について考えましょう。

第2部：地区誌の作成から見えるもの

発表者

- ・岸本 清明（元加東市立小学校・教諭）

コーディネーター

- ・吉川 修史（兵庫教育大学・准教授）

2026年2月に加東市梶原地区自治会から『梶原誌』が発行されました。『梶原誌』作成に関わられた岸本清明氏に地区誌を作成した理由や、地区誌の作成を通して考えたことや感じたことについて話してもらいます。

対象者：社会科、総合学習、ふるさと学習、地域学習等に興味・関心のある先生、学生等

参加申込について

件名を「地域教材シンポジウム申込」とし、本文に「名前（読み仮名も）、所属、連絡先（メールアドレス）」を記入し、「skikkawa[at]hyogo-u.ac.jp」（[at]を@に変換してください。）にお送りください。

当日受付も可能ですが、資料準備の関係上できる限り、事前申し込みをお願いします。

事前申し込みメ切：2026年8月10日（月）12：00

本シンポジウムは、受託研究「東条川疏水の次世代継承に向けた学校教育における教材の活用及び学習材の開発に関する調査研究」の支援を受けて実施します。

主催：兵庫教育大学地域教材開発室／共催：東条川疏水ネットワーク博物館

後援：小野市教育委員会・加東市教育委員会



教育・言語・社会棟平面図

